

2026年度 愛知大学大学院シンポジウム

愛知大学大学院と デュアル・ディグリー（DD）制度



中国人民大学



南開大学



東呉大学

■Program

●開会挨拶

広瀬裕樹 愛知大学学長

●パネルディスカッション

黄 英哲 氏

(愛知大学中国研究科長)

塩山 正純 氏

(愛知大学国際コミュニケーション学部長)

加治 宏基 氏

(愛知大学中国研究科教授

2006年度DD生)

●コメンテーター

南部 広孝 氏

(京都大学大学院

教育学研究科長)

加納 寛 氏 (愛知大学副学長)

●司会

佐藤 元彦 氏

(愛知大学大学院長)

■開催趣旨

愛知大学では2004年度から中国の大学との「デュアル・ディグリー制度」を発足させ、これまでに200名以上の中国人学生を本学に受け入れ、また、本学から14名の日本人学生を送り出しています。この制度発足から二十数年を経た今、これまでの歩みと課題を総括するとともに、外部専門家を交えて今後の発展に向けた方向性を探ります。

日時：2026年9月24日（木）

15時～17時

会場：愛知大学名古屋校舎

本館（研究棟）20階会議室

オンライン（ZOOM）併用

定員：会場30名 オンライン50名

お申し込みは、
愛知大学大学院サイト
<https://www.aichi-u.ac.jp/grad/symposium> へ



愛知大学
オープンカレッジ



主催：愛知大学大学院
協力：愛知大学同窓会

【問い合わせ】

愛知大学大学院事務課

TEL：052-564-6125 / FAX:052-564-6225
〒453-8777

愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6
e-mail：kkyogaku@ml.aichi-u.ac.jp